

第2回 復興五輪連絡調整会議 議事概要

日 時：平成30年12月14日（金） 15：00～16：30

場 所：復興庁宮城復興局 A大会議室

参加者：別添

復興庁より、復興五輪に向けた取組、内閣官房よりホストタウンの推進に係る最近の状況を説明した後、各県より聖火リレーや機運醸成等、「東京2020オリ・パラ競技大会」関連の取組の検討・調整状況について報告。その後、参加者より以下の発言があった。

- 聖火リレーについて、本年夏に実行委員会準備委員会を設立し、コース等の検討をしてきたところ。年内に素案を作成し、組織委員会に提出する予定。
- 聖火リレーや復興の火については、被災地の方々や多くの県民に見ていただくという方針で考えているが、もう少し検討には時間がかかる。
- 機運醸成に向けて、2年前イベント、スポーツ教室等を開催してきたところ。来年も、旧炬火台の巡回展示など各種イベントを通じて更なる盛り上げを図っていきたい。
- 県内の機運醸成に加え、被災地での競技開催の県外へのPRや被災3県全体の復興状況の発信もあわせて進めていく必要。
- 食材の活用に向けて、県GAP創設やGAP指導体制の強化を実施してきた。引き続き、GAPの推進等、県産食材のPRを実施したい。
- ホストタウンは、復興「ありがとう」ホストタウンを中心に登録市町村が増えてきたところ。事前キャンプの誘致に動いている市町村等が、今後、ホストタウンにも取り組んでもらうことを期待。
- 競技場周辺における都市装飾、地域製品のPRや復興の発信について、今後検討していきたい。組織委員会が指定するセキュリティゾーンや、組織委員会自らが装飾を実施する範囲、使用できるコンテンツについて、早めの情報提供をお願いしたい。

以上

(別添)

所属・役職	氏名
復興副大臣	橘 慶一郎
復興庁 統括官	末宗 徹郎
復興庁 復興五輪推進官（参事官）	山里 直志
復興庁 岩手復興局次長	重高 浩一
復興庁 宮城復興局長	小谷野 喜二
復興庁 福島復興局次長	田中 耕太郎
岩手県 文化スポーツ部副部長兼文化スポーツ企画室長	石田 知子
岩手県 文化スポーツ部参事兼スポーツ振興課総括課長	工藤 啓一郎
宮城県 震災復興・企画部オリンピック・パラリンピック大会推進局長	大山 明美
宮城県 震災復興・企画部オリンピック・パラリンピック大会推進課長	小野寺 彰英
福島県 企画調整部文化スポーツ局次長	金子 市夫
福島県 企画調整部文化スポーツ局オリンピック・パラリンピック推進室室長	佐藤 隆広
【オブザーバー】	
公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会総務局総合調整部長	渡邊 知秀
公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会聖火リレー室聖火リレー部長	山崎 太郎
公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会聖火リレー室聖火リレー担当部長	渡邊 泰之
内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局参事官	荒井 陽一
東京都 オリンピック・パラリンピック準備局総務部全国自治体調整担当課長	松井 真司